

平成20年度 第1回 モビリティ・マネジメント分科会名簿

所 属 ・ 役 職	出席者
社団法人宮城県バス協会業務課長	新田 誠
仙台市交通局自動車部長バス事業経営企画課長	代理 石川栄一
宮城交通株式会社営業部営業課長	代理 本間 洋一
愛子観光バス株式会社事業部長	佐々木 柳治
東北大学財務部資産管理課長	代理 及川 良房
東北大学教育・学生支援部学生支援課長	坂本 秀敬
宮城教育大学学生・就職主幹	代理 松嶋 邦明
東北工業大学学生サポートオフィスライフサポートセクションマネージャー	代理 八重嶋 豊
東北大学生生活協同組合理事会室長	(欠席)
宮城教育大学生生活協同組合専務理事	田村 孝夫
東北工業大学生生活協同組合専務理事	(欠席)
特定非営利活動法人 まちづくり政策フォーラム理事	足立 千佳子
東北運輸局企画観光部交通企画課長	飯田 修章
東北地方整備局仙台河川国道事務所調査二課長	高松 昭浩
宮城県企画部総合交通対策課長	代理 鈴木 淳一
仙台市環境局環境部環境都市推進課長	川邊 直
仙台市企画市民局地域政策部区政課長	代理 石澤 健
仙台市都市整備局総合交通政策部公共交通推進課長	小林 法夫
仙台市都市整備局総合交通政策部長(会長)	岩崎 裕直

## 会議等記録

議題	平成20年度 第1回 モビリティ・マネジメント分科会(公共交通利用促進協議会)		
日時	平成20年5月14日(水曜日)13:30～	場所	第五委員会室
出席者	別紙のとおり		
会議要旨等			
<b>1. 要旨</b> 以下5つの議題を事務局より委員に対し提案を行い了承をいただいた。 (1) 趣旨説明およびワーキング設置について (2) 仙台バスマップアンケート調査結果について (3) 大学アンケート調査について (4) 転入者モビリティ・マネジメントアンケート調査結果について (5) 今後の取り組みについて			
<b>2. 意見等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 東北大学での昨年度のアンケート調査は、回収率も低く精度が良くなかった。回答方法を、電子メール・紙ベース(授業時間内での記入・窓口に配置)など、昨年度の経験を踏まえ、別途事務局と打合せを行う。</li><li>・ 宮城教育大では(他大学も同様と思うが)オープンキャンパスは高校3年生よりも、高校1・2年生が多くを占めるので、長期的に考え働きかけることが必要と考える。</li><li>・ 東北大学の学生、特に1・2年生(川内)の学生は、八幡地区に多く住んでおり、バス路線と居住地がマッチしていない。</li><li>・ 仙台駅行きでは、宮教の学生が乗車するため川内からでは乗車に時間がかかる。国際センターから乗車する利用者が、満車で乗れないという苦情が大学側に寄せられる。また、仙台駅～大学間のバス路線以外の地区に住む学生は乗り換え(乗り継ぎ)が生じる。 ⇒現在、庁内でバス路線再編などの検討を実施している。その計画が具体化したら、関係者(大学など)と一緒に取り組んでいきたいと考える。</li><li>・ 宮城教育大生協側から見た、今年の入学者の住居選定の傾向としては、①家賃、②通学手段の順であり、市街地から八木山などへの変化が見られるので、昨年度のアンケート結果と比較して、偏りがあるかもしれない。</li><li>・ 転入MMのアンケート結果の公表は考えているか ⇒未定である。(モビリティ・マネジメントの言葉を広報する為にも、PRは今後必要である。)</li><li>・ 仙台バスマップに関するアンケート結果について、本分科会への報告後は公表していきたい。 (具体的な記者発表などは未定)</li><li>・ 転入MMで配布する資料はどんなものか ⇒運輸局で作成した、統合バスマップのイメージで考えている。</li><li>・ 東北工業大学では、新キャンパス設置に伴いバス路線が新設された。南方面から来る学生は便利になった。北方面は仙台駅乗り換えとなる。</li></ul>			